



JFEシビルのクレーンガーダー交換工法

スーパージャッキシステム テクニカルノート



ジャッキ式作業ユニットが安全で効率的な施工をサポートします。

工場の天井クレーンのランウェイガーダーが老朽化して、新しいものと交換する場合には、これまでは大型の揚重機が必要でした。これに対し、本工法は、軽量でプレハブ化された作業ユニットを用いることにより、工事の安全性と効率をアップします。

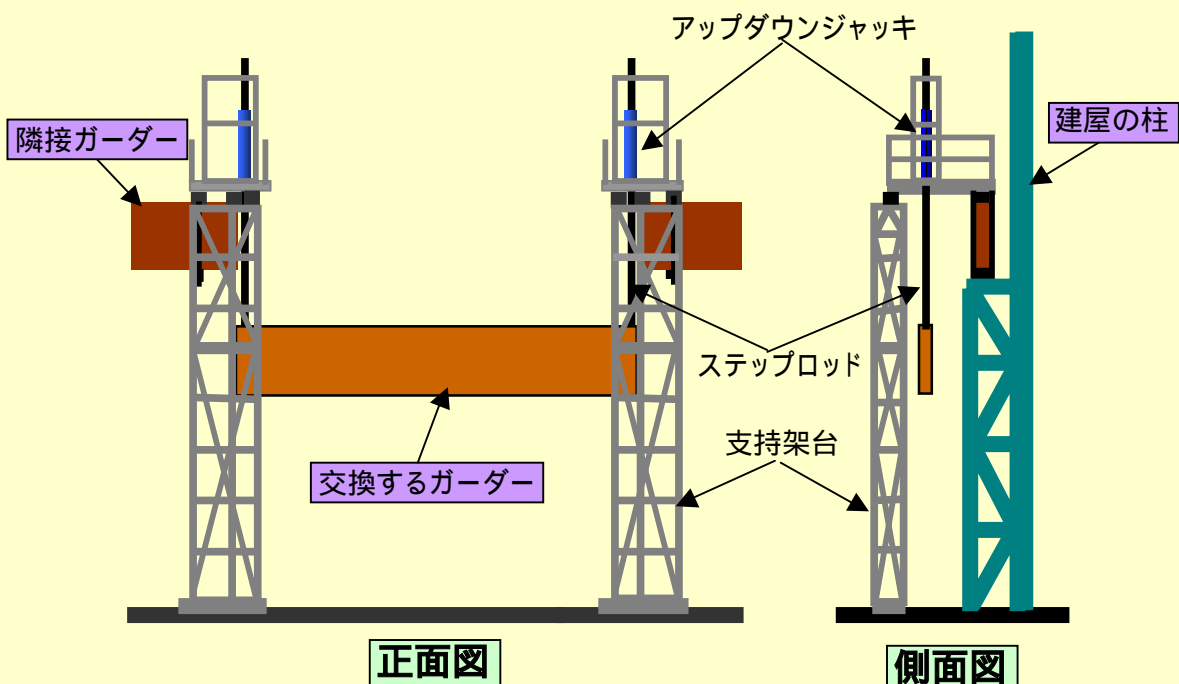


特長

1. 大型の揚重機が乗り込めない狭小な場所での施工が可能です。
2. 節付きのロッドを用いたジャッキを使用し、安全・確実な施工ができます。
3. 作業ユニットは軽量で、運搬や組立解体が容易です。

ジャッキ式作業ユニットのイメージ

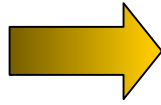
- 交換するクレーンガーダーの両側に作業ユニットを設置し、アップダウンジャッキにセットした節付きロッド(ステップロッド)により、既設ガーダーの吊下しと新設ガーダーの吊上げを連続して行います。
- 節付きロッドを使用しているため、ジャッキとロッドのすべりやズレがなく、安全確実に昇降作業ができます。また、ロッドは短尺なものを接合できるので、上部空間が狭い場合にも適用できます。
- 遠隔操作で複数のジャッキの高精度の連動制御ができます。



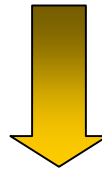
実施状況



作業ユニットの設置



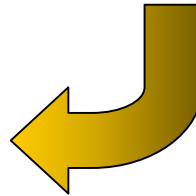
既設ガーダー吊上げ横移動



吊下げ



接地



新設ガーダーの吊上げ設置



作業ユニットの解体搬出



JFE シビル 株式会社

スーパージャッキシステム

〒111-0051

東京都台東区蔵前2丁目17番4号 JFE蔵前ビル
都市基盤営業部 特殊工法グループ

TEL 03 - 3864 - 5293

FAX 03 - 3864 - 3735

<http://www.jfe-civil.com/tokkou/index.html>

